

歴史上に存在した回転式書見台について

はじめに: 回転式書見台の定義とその歴史的目的

書見台とは、立って朗読する際に書籍や文書を支えるための傾斜した天板を持つ台であり、聖書朗読、講義、説教など、声に出して読む必要がある場面で用いられてきました¹。歴史的には、宗教的な儀式における聖典朗読のために教会で使われることが多かったのですが¹、学術的な環境、法廷、政治的なイベントなど、幅広い場面でも見られました¹。聴衆とのアイコンタクトを容易にし、姿勢を改善するために、高さや傾斜を調整できるものもあります¹。

ここでいう「回転式」とは、書見台全体の構造を動かすことなく、読書面や書籍を支える部分が回転する機構を持つことを指します。これには、二重の書見台を備えた回転式の天板⁸、両面が使える回転式の傾斜面⁹、さらには書見台と一体化した回転式の書棚システム¹¹など、様々な形態が存在しました。

回転式書見台の歴史的な目的は多岐にわたります。典礼においては、礼拝中に必要となる複数の聖書箇所（書簡と福音書など）を効率的に提示するために利用されました⁹。また、複数の朗読者や講演者が同じ書見台を共有する際に、スムーズな交代を可能にする役割も果たしました⁹。図書館や学術的な環境においては、大型の書物や複数の文献を参照しながら研究するために、異なる箇所や複数の巻を容易に切り替えられる利便性を提供しました¹¹。

書見台が、単なる読書台から回転機構を備えたものへと進化してきた背景には、特に宗教儀礼や学術研究の現場において、効率性と多機能性への要求が高まってきたことが挙げられます。初期の書見台は基本的な機能を果たしていましたが、典礼の複雑化や印刷技術の発達による文書量の増加に伴い、複数のテキストを迅速かつ容易にアクセスする必要性が生じ、それが回転機構の開発を促したと考えられます。これは、情報管理の複雑化と家具デザインの革新との間に明確な因果関係があることを示唆しています。

初期の形態と起源: 回転式書見台の先駆

回転式書見台の直接的な起源を特定することは難しいですが、その概念の萌芽は、初期の読書台や演説台に見出すことができます。

「アンボ」と呼ばれる演壇は、ギリシャ語で「階段」や「高台」を意味する言葉に由来し⁹、初期の教会で福音書や書簡を朗読するために使用された高くなった台です¹²。当初は可搬式の書見台のような形態でしたが、6世紀までには教会に固定された家具へと発展しました⁹。教会によっては、書簡朗読用と福音書朗読用の二つのアンボが設置されることもありました¹²。12世紀頃には、徐々に説教壇に取って代わられるようになりましたが¹³、現代のカトリック教会では、朗読台として「アンボ」という言葉が用いられ、説教壇と書見台の両方の機能を果たすこともあります¹²。

古代ギリシャの「ペーマ」は、公衆演説や法的 proceedings のために使用された高くなった演壇であり⁴、書見台のような構造の先駆けと考えられています⁴。

修道院などにおける初期の読書習慣を見ると、修道士たちは大きな書物を巨大な書見台に置いて、その周りに集まって歌を歌うことが多かったようです¹⁹。これは、回転機構を備えた書見台が具体的に開発される以前から、複数のテキストや大きな書物を提示する必要性が存在していたことを示唆しています。

アンボが、異なる聖書箇所を提示する機能を持っていたことは、複数のテキストを扱うための読書台という概念の基礎を築き、後の回転式書見台の開発に影響を与えた可能性があります。アンボが当初は可搬式であり、後に固定式へと変化したこと、そして二つのアンボが設置される場合があったことは、初期の段階から典礼や情報伝達において、異なる部分を管理し提示する必要性が認識されていたことを示唆しています。これは、後に読書面を物理的に回転させるという革新へと機能的に繋がっていきます。

中世の発展：初期の回転機構の出現

中世の修道院図書館における読書習慣は、回転式書見台の発展に間接的な影響を与えたと考えられます。中世の書物はしばしば大きく重く、複数の書物を同時に参照することは困難でした²⁰。このため、読者が複数のテキストに容易にアクセスできるような解決策が求められました。

このニーズに応えるものとして、「回転式書見台(ブックホイール/カルーセル)」が開発されました²⁰。これは、上部が回転することで、読者が複数の写本を便利に参照できる装置です²⁰。現存する最古の例は14世紀のものですが、それ以前から使用されていた可能性もあります²⁰。単一または複数の棚を持つ様々なデザインが存在し、机の上に置くものや独立して立つものがありました²⁴。これらの回転式書見台は、中世において回転機構が情報アクセスに役立つという理解があったことを示しています。

1792年にナポリ王宮に存在した回転式書見台は、その様式が北欧の中世の伝統を参照しているとされています¹¹。この記述は、提供された資料の中では直接的な証拠は限られているものの、北欧の中世において回転式書見台が存在していた可能性を強く示唆しています。このことは、当時の北欧において、何らかの文化的または実用的な理由で、そのようなデザインが発展した可能性を示唆しており、今後の更なる研究が期待される分野です。

15世紀初頭のフランドル、イタリア、ドイツの芸術作品には、三角形の書見台がよく見られます¹⁹。これは三面体であり、三位一体に関連する象徴的な意味合いを持っていた可能性があります¹⁹。直接的に回転するわけではありませんが、書見台を回すだけで三つの異なるテキストや視点を示すことができました。これは、より複雑な回転機構への前段階と見なすことができます。

中世の図書館における回転式書見台の開発と、北欧中世の回転式書見台の伝統への言及は、複数のテキストへの効率的なアクセスという概念が中世に存在していたことを示唆しています。図書館における回転機構の原理が、教会などの他の環境で使用される書見台のデザインに影響を与えた可能性も考えられます。

ルネサンスと近世：デザインの革新と使用状況

ルネサンス期には、「ルネサンス書見台」という用語が現代において特定のデザイン様式や機能を持つ書見台を指すために使われることがあります²²、提供された資料の中では、ルネサンス期そのものの歴史的な遺物というよりは、現代的な解釈に基づいた例が多いようです。ただし、19世紀後半のルネサンス様式の図書館用テーブル²⁴の記述があり、ルネサンスのデザインが後の時代に復活していたことがわかります。

17世紀のフランスには、回転式の両面天板を持つオーク材の書見台が存在しました⁹。これは「回転式アンボ書見台」または「鳩小屋式回転書見台」と呼ばれることもありました⁹。両面が使える三角形の傾斜面が回転可能で、元々は書簡と福音書の朗読に使用されていました⁹。この「鳩小屋」という名称は、機能的な目的ではなく、鳩小屋の様式に由来するものです⁹。この例は、教会における典礼

目的での回転式書見台の使用を示しています。

17世紀フランスの「鳩小屋式」回転書見台は、特定のデザインと典礼上の機能を持つ歴史的な回転式書見台の具体的な例です。「鳩小屋」という用語は様式的なものでありながら、鳩小屋の建築様式との視覚的な類似性を示唆しており、家具デザインにおける潜在的な文化的影響を示しています。この書見台の両面回転式の天板や、特定の典礼朗読に使用されたという詳細な記述は、17世紀における回転式書見台の存在と目的を明確に示しています。鳩小屋様式との関連性は、建築様式が家具の美学に影響を与える可能性を示唆しています。

注目すべき歴史的な事例：回転式書見台の具体例

17世紀のフランスの「鳩小屋式」書見台は、オーク材で作られ、頑丈で堅牢な構造を特徴としていました⁹。多くの場合、四角い脚の上に形作られた柱と、下部に装飾的な終端部(フィニアル)を備えていました⁹。この回転式の両面アンボ書見台は、全体を移動させることなく両面に容易にアクセスできる設計であり、複数の朗読者や講演者が同じ書見台を共有する状況に適していました⁹。17世紀に作られたこの種の書見台が現存しています⁹。

1792年にナポリ王宮に存在した回転式書見台は、天板が拡張可能な書斎机であり、回転式の書棚システムと書見台が組み合わされたものでした¹¹。これは、オーストリアのマリア・カロリーナ王妃の図書館に置かれていました¹¹。その様式は、北欧の中世の伝統を参照しているとされています¹¹。マホガニーとブロンズ製で、新古典主義の影響が見られます¹¹。2つの回転する車輪に8つの棚状の書見台が取り付けられており、複数のテキストを同時に読むことができました¹¹。このナポリの書見台は、回転の概念が書斎机と複数の書棚に統合され、典礼とは異なる学術的または図書館的な環境での使用を示唆しています。北欧中世の伝統への明確な言及は、回転式書見台がその地域と時代に起源を持つという考えを裏付けています。

1878年製の壮大なオーク材の記念「鳩小屋式」回転書見台は、ロンドンのシティにある重要な中世の教会、セント・ジャイルズ教会から出たものです²⁵。オーク材でできており、回転式の書見台、アンボ、朗読台として説明されています²⁵。記念碑的な作品であり、特定の機会や人物を記念して作られた可能性があります。寸法は、高さ160cm、幅61cm、奥行き65cmです²⁵。1878年の事例は、「鳩小屋」という用語が19世紀にも使用され続け、教会における記念碑的な作品と関連付けられていたことを示しており、この様式が宗教施設内で長く人気を博し、重要な意味を持っていたことを示唆しています。

19世紀後半のオーク材ゴシック・リバイバル様式回転書見台は、二重の書見台、歯状のモールディング、彫刻されたアーチ型のフィニアル、透かし彫りの四つ葉飾りを備えた回転式の天板を特徴としています⁸。真鍮製の燭台の受けは残っていますが、オリジナルの燭台は失われています⁸。高度に装飾された彫刻と透かし彫りのゴシック様式三葉形の台座で支えられています⁸。15世紀のデザインの影響を受けており、ゴシック・リバイバル様式を反映しています⁸。寸法は、高さ152.5cm、幅56cm、奥行き56cmです⁸。このアンティークの年代は1870年です⁸。この事例は、19世紀の家具デザインにおける歴史的な建築様式の影響を示しており、ゴシック・リバイバル運動が中世の美学を意識的に反映した書見台の制作につながりました。回転式天板の詳細な記述は、これらの作品に共通する特定のデザインの特徴を強調しています。

1940年代のミッドセンチュリーの木製回転式書見台は、シチリア内陸部の古代の別荘で発見されました²⁶。木製で、無傷で良好な状態です²⁶。寸法は、幅22.05インチ、奥行き14.17インチ、高さ59.84インチです²⁶。この20世紀の事例は、教会という文脈を超えて、個人の別荘で発見されたことから、回転式書見台が、たとえそれほど一般的ではなかったとしても、宗教的または学術的な環境以外でも

使用され続けていたことを示唆しています。

「鳩小屋式」書見台：意味とデザインの特徴

「鳩小屋式回転書見台」という用語は、特定の歴史的な回転式書見台、特に17世紀から19世紀のものに使用されています⁹。この用語は、鳩を飼育するための構造物である鳩小屋の様式を参照しており、鳩に関連する機能的な目的を示唆するものではありません⁹。

鳩小屋は、様々な形状(円形、正方形、八角形)の独立した構造物である場合や、家や納屋の一部として建てられる場合があります²⁹。フランスの鳩小屋、特にノルマンディー地方のものは、木製で非常に様式化された方法で建てられました²⁹。回転式の書見台の中には、回転式の書見台部分が複数段になっていたり、区画分けされているように見えるものがあり、それが鳩小屋の見た目に似ていた可能性があります⁸。

この様式を示す例としては、17世紀のフランスのオーク材の書見台⁹と、1878年製の壮大なオーク材の記念書見台²⁵がどちらも「鳩小屋式」書見台と呼ばれています。これらの書見台の画像(URLから入手可能)を調べると、様式的な類似性を視覚的に確認できるでしょう。また、「シンプルなウェールズのヴィクトリア朝の塗装された模造オーク材『鳩小屋式』台座教会書見台アンボ」²⁸の記述もあり、台座式の書見台にもこの用語が使用されていたことがわかります。

「鳩小屋」という用語は、家具デザインにおける視覚的な美学と文化的参照の重要性を強調しています。鳩小屋との比較は、これらの書見台の形状と構造が、当時の文化圏でよく知られた建築要素を想起させ、認識しやすく、あるいは象徴的な意味合いさえ持っていた可能性を示唆しています。鳩との機能的な関連性がないこと、そして鳩小屋の様式との関連性が明示されていることから、この名称は視覚的な類似性から生まれたと考えられます。歴史的な鳩小屋の建築的特徴を分析し、これらの書見台のデザインと比較することは、この用語を理解する上で重要なステップとなるでしょう。

19世紀と20世紀の回転式書見台：継続的な使用と進化

19世紀と20世紀においても、回転式書見台は主に教会で継続的に使用されていました。19世紀後半のゴシック・リバイバル様式の書見台⁸と、1878年製の「鳩小屋式」書見台²⁵はその例です。また、1914年頃のイギリス製の回転式オーク材書見台も記録されています³⁰。

教会以外の場面でも使用例が見られます。1940年代のミッドセンチュリーの木製回転式書見台は、個人の別荘で発見されました²⁶。1792年のナポリの例は、より早い時期に図書館で使用されていたことを示しています。

19世紀の例は、初期の様式(中世の形態を反映したゴシック・リバイバル様式)を踏襲しています。1940年代の例は、資料が限られているため詳細は不明ですが、より洗練されたミッドセンチュリー美学を示唆しています。現代においても回転機能を持つ書見台が存在する可能性はありますが、提供された資料では現代的なデザインに焦点は当てられていません。

このように、回転式書見台は19世紀と20世紀にも、主に教会で、しかし私的な環境でも使用され続け、その永続的な機能性を示しています。デザインの進化は、これらの時代における家具様式の広範な傾向を反映しています。年代順に事例を見ると、回転式書見台は一時的な流行ではなく、数世紀にわたって存続し、異なる美的嗜好に適応し、様々なニーズに応えてきたデザインであることがわかります。

博物館とコレクションに現存する例

メトロポリタン美術館(クロイスターズ分館)には、19世紀後半から20世紀初頭にかけての15世紀から16世紀の様式で作られた鉄製の書見台が所蔵されています³¹。歴史的な様式で作られたとされていますが、資料では回転式であるかどうかは明記されていません。また、15世紀のフランスの木製書見台³²、1500年頃の南ネーデルラントの真鍮製鷲型書見台(ジャン・アールト・ファン・トリヒト作と推定)³³、1475年から1525年頃のフランスの聖書朗読用オーク材書見台³⁵も所蔵されていますが、これらの書見台も資料では回転式であるとは明示されていません。さらに、15世紀のスペインの折りたたみ式クルミ材書見台もコレクションに含まれています³⁶。

ウォルターズ美術館には、1908年の地震で破壊されたシチリアのメッシーナ大聖堂にあった回転式真鍮製書見台から保存された、福音書記者を表す四つのシンボルが刻まれた四つの書見台部分が所蔵されています³⁷。これは、歴史的な回転式書見台の存在を示す重要な証拠です。メッシーナの書見台は、上部が回転するように設計されており、各福音書記者の著作の写しをそれぞれのシンボルの上に置くことができました。司祭は脇の段に立って、必要な福音書が正面に来るように机を回すだけでよかったです。メッシーナに関連する他の品々の文脈から、この書見台は中世に遡る可能性が高いと考えられます。

ナポリ王宮には、1792年製の回転式書見台が現存しています¹¹。

古美術商はしばしば、歴史的な書見台をリストアップしており⁶、その中には回転式と説明されているものもあります。家具や教会美術を専門とする博物館のコレクション²⁴にも、他の例が存在する可能性があります。これらの資料では回転式であるとは明示されていません。

メトロポリタン美術館の資料では回転式書見台の具体的な記述は少ないものの、メッシーナの例や古美術市場での回転式書見台の存在は、博物館のコレクションや個人の所蔵品の中にもっと多くの現存する例が存在する可能性を示唆しており、それらを発見するためにはさらなる専門的な調査が必要となるでしょう。

結論: 不朽の機能性と歴史的意義

初期のアンボのような形態から、より複雑な回転式のデザインまで、書見台は講演者や読者の変化するニーズに合わせて進化してきました。回転機構は、宗教的、学術的、そして私的な環境において、複数のテキストへの効率的なアクセスというニーズに対応しました。

朗読を支えるという核心的な目的は、現代のテクノロジーが存在する今日においても依然として重要です。複数の情報源に容易にアクセスできるという概念もまた、現代においても価値があります。

回転式書見台の開発は、情報管理の複雑化と、機能的で美しい家具を作り出す職人の創意工夫の両方を反映しています。使用された様式や材料は、芸術とデザインにおける広範な歴史的潮流を映し出しています。

回転式書見台の歴史は、家具デザインがいかに進化する情報ニーズと技術的能力に適応してきたかの縮図です。典礼における実用的な必要性から、学術研究における利便性まで、回転機能は、書かれたものに関わる上での効率性とアクセシビリティへの継続的な欲求を際立たせています。この特定の家具の進化を辿ることで、人間と情報との関わり方が、私たちが使用する物にどのような影響を与えてきたかの広範なパターンを見ることができます。回転式書見台は、知識を効果的に整理しアクセスしたいという人間の永続的な願望の証です。

注目すべき回転式書見台の年代順表

| 世紀/年代(判明している場合) | 出生地/起源 | 説明/主な特徴(回転機構を含む) | 使用状況(例: 教会、図書館、個人) | 出典(スニペットID) |
|-----------------|-------------------|---|--------------------|-------------|
| 17世紀 | フランス | 回転式の両面天板を持つオーク材製。「鳩小屋式」と呼ばれる。 | 教会(典礼) | 9 |
| 1792年 | ナポリ王宮 | 天板拡張可能、回転式書棚システムと書見台が一体化。8つの棚状書見台が2つの回転車輪に固定。 | 図書館(王室) | 11 |
| 1870年 | 不明 | オーク材、ゴシック・リバイバル様式。二重書見台、回転式天板、装飾的な台座。 | 不明(アンティーク) | 8 |
| 1878年 | ロンドン(セント・ジャイルズ教会) | オーク材製、記念碑的。「鳩小屋式」と呼ばれる回転式書見台、アンボ、朗読台。 | 教会 | 25 |
| 1940年代 | シチリア | 木製、ミッドセンチュリー様式。回転式。 | 個人(別荘) | 26 |
| 19世紀後半～20世紀初頭 | ヨーロッパ | 鉄製、15～16世紀様式。回転式である可能性あり。 | 不明(メトロポリタン美術館所蔵) | 31 |

| | | | | |
|---------|-----------------------|-------------------------------|--------|----|
| 1908年以前 | シチリア(メッシーナ大聖堂) | 真鍮製、上部回転式。各福音書記者のシンボル付き書見台4つ。 | 教会(典礼) | 37 |
| 1914年頃 | イギリス(フラムリンガム教会、サフォーク) | オーク材製、360度回転式。 | 教会 | 30 |

引用文献

1. Lectern - Wikipedia, 3月 16, 2025にアクセス、<https://en.wikipedia.org/wiki/Lectern>
2. LECTERN Definition & Meaning - Merriam-Webster, 3月 16, 2025にアクセス、<https://www.merriam-webster.com/dictionary/lectern>
3. Podium vs. Lectern vs. Pulpit: What Are the Differences? - Luminati, 3月 16, 2025にアクセス、<https://www.luminati.co.uk/podium-vs-lectern-vs-pulpit-what-are-the-differences/>
4. The History Of the Lectern - Everything You Need To Know, 3月 16, 2025にアクセス、<https://www.novalecterns.co.uk/post/the-history-of-the-lectern>
5. The History of Lecterns and Pulpits - St. Jude Shop, Inc., 3月 16, 2025にアクセス、<https://www.stjudeshop.com/blog/the-history-of-lecterns-and-pulpits-/>
6. Antique Lecterns, 3月 16, 2025にアクセス、<https://www.antiques-atlas.com/antiques/antique-furniture/miscellaneous-furniture/lectern>
7. The History of the Lectern - Red17, 3月 16, 2025にアクセス、<https://www.red17.co.uk/blog/history-lectern/>
8. Late 19th Century Oak Gothic Revival Revolving Lectern - Selling Antiques, 3月 16, 2025にアクセス、<https://www.sellingantiques.co.uk/486609/late-19th-century-oak-gothic-revival-revolving-lectern>
9. French 17th Century Oak Lectern with Revolving Double Sided Top, 3月 16, 2025にアクセス、https://www.whitesantiquescollective.co.uk/en-GB/decorative-items-object-dart/french-17th-century-oak-lectern-with-revolving-double-sided-top/prod_10228
10. French 17th Century Oak Lectern With Revolving Double Sided Top - Selling Antiques, 3月 16, 2025にアクセス、<https://www.sellingantiques.co.uk/1031623/french-17th-century-oak-lectern-with-revolving-double-sided-top>
11. Rotating lectern, Unknown Artist - Artsupp, 3月 16, 2025にアクセス、<https://artsupp.com/en/artists/anonymous/leggio-rotante>
12. The Ambo, 3月 16, 2025にアクセス、<https://sjnparish.org/wp-content/uploads/2021/01/The-Ambo.pdf>
13. What is an Ambo & the history of it's use and development - Podiums Direct, 3月 16, 2025にアクセス、<https://podiumsdirect.com/blogs/news/ambo>
14. Ambo | Cathedral of Our Lady of the Angels | Los Angeles, CA, 3月 16, 2025にアクセス、<https://olacathedral.org/ambo>
15. CATHOLIC ENCYCLOPEDIA: Ambo - New Advent, 3月 16, 2025にアクセス、<https://www.newadvent.org/cathen/01381e.htm>
16. Ambo | Byzantine, Greek & Orthodox - Britannica, 3月 16, 2025にアクセス、<https://www.britannica.com/topic/ambo-church-architecture>

17. The Ambo: A Brief Consideration - Liturgical Arts Journal, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://www.liturgicalartsjournal.com/2019/04/the-ambo-brief-consideration.html>
18. Pulpit - Wikipedia, 3月 16, 2025にアクセス、<https://en.wikipedia.org/wiki/Pulpit>
19. 15th-16th C. Lectern/Music Stand - Chopine, Zoccolo, and Other Raised Heel and High Heel Construction - AandS, 3月 16, 2025にアクセス、
<http://aands.org/raisedheels/Other/Lectern/lectern.php>
20. Using the Medieval Book - Brewminate: A Bold Blend of News and Ideas, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://brewminate.com/using-the-medieval-book/>
21. Medieval Book Carousels | medievalbooks, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://medievalbooks.nl/2018/11/02/medieval-book-carousels/>
22. RENAISSANCE lectern - AWARTS, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://awartsgroup.com/en/lectern-renaissance/>
23. The Kingdom® Renaissance Pulpit™ - Light oak, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://kingdom.com/the-kingdom-renaissance-pulpitm-light-oak.html>
24. Library Table - Museum of Florida History, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://museumoffloridahistory.com/explore/collections/florida-historic-furniture/library-table/>
25. 1878 Grand Oak Antique Memorial Pigeon Coop Revolving Lectern (SOLD), 3月 16, 2025にアクセス、
<https://churchantiques.com/product/1878-grand-oak-antique-memorial-pigeon-coop-revolving-lectern-sold/>
26. Mid-Century Wooden Revolving Lectern, 1940s - Chairish, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://www.chairish.com/product/23132258/mid-century-wooden-revolving-lectern-1940s>
27. Mid-century Wooden Revolving Lectern, 1940s - Etsy Canada, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://www.etsy.com/ca/listing/1815007323/leggio-girevole-mid-century-in-legno>
28. Simple Welsh Victorian Painted Faux Oak 'Pigeon Coop' Pedestal Church Lectern Ambo, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://churchantiques.com/product/simple-welsh-victorian-painted-faux-oak-pigeon-coop-pedestal-church-lectern-ambo/>
29. Dovecote - Wikipedia, 3月 16, 2025にアクセス、<https://en.wikipedia.org/wiki/Dovecote>
30. Revolving Oak Lectern - English Circa 1914 - Mary Collings Church Furnishings, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://www.marycollingscf.co.uk/product/revolving-oak-lectern-english-circa-1914/>
31. Lectern | European | The Metropolitan Museum of Art, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://www.metmuseum.org/art/collection/search/471594>
32. Lectern | French | The Metropolitan Museum of Art, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://www.metmuseum.org/art/collection/search/466563>
33. Eagles, dragons, griffins, and angels: Netherlandish brass lecterns in context, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://courtauld.ac.uk/whats-on/eagles-dragons-griffins-and-angels-netherlandish-brass-lecterns-in-context/>
34. Attributed to Jehan Aert van Tricht | Lectern in the Form of an Eagle | South Netherlandish | The Metropolitan Museum of Art, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://www.metmuseum.org/art/collection/search/471867>
35. Lectern for Reading Scripture | French | The Metropolitan Museum of Art, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://www.metmuseum.org/art/collection/search/466313>
36. Lectern, Folding | Spanish | The Metropolitan Museum of Art, 3月 16, 2025にアクセス、
<https://www.metmuseum.org/art/collection/search/467709>
37. Statuette of the Evangelist Symbol of Matthew from a Lectern | The Walters Art Museum, 3

- 月 16, 2025|にアクセス、<https://art.thewalters.org/object/53.70/>
38. Statuette of the Evangelist Symbol of Luke from a Lectern | The Walters Art Museum, 3月 16, 2025|にアクセス、<https://art.thewalters.org/object/53.72/>
39. Statuette of the Evangelist Symbol of Mark from a Lectern | The Walters Art Museum, 3月 16, 2025|にアクセス、<https://art.thewalters.org/object/53.71/>
40. File:Netherlandish - Statuette of the Evangelist Symbol of Luke from, 3月 16, 2025|にアクセス、
[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Netherlandish - Statuette of the Evangelist Symbol of Luke from a Lectern - Walters_5372.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Netherlandish_-_Statuette_of_the_Evangelist_Symbol_of_Luke_from_a_Lectern_-_Walters_5372.jpg)
41. Furniture - Winterthur Museum, Garden & Library, 3月 16, 2025|にアクセス、
<https://www.winterthur.org/furniture/>
42. Bienenstock Furniture Library, 3月 16, 2025|にアクセス、<https://www.furniturelibrary.com/>
43. Furniture Heritage Exhibit - Museum - City of High Point, 3月 16, 2025|にアクセス、
<https://www.highpointnc.gov/700/Furniture-Heritage-Exhibit>
44. Furniture - Historic Deerfield, 3月 16, 2025|にアクセス、
<https://www.historic-deerfield.org/collections/furniture/>
45. Ecclesiastical Faldstool - Cleveland Museum of Art, 3月 16, 2025|にアクセス、
<https://www.clevelandart.org/art/1942.616>
46. Museum of Ecclesiastical Art - Visit Plzeň, 3月 16, 2025|にアクセス、
<https://www.visitplzen.eu/en/visit-pilsen/museums/museum-of-ecclesiastical-art/>
47. A Treasure to be Remembered: USDA Support Turns a Historic Church into a Museum, 3月 16, 2025|にアクセス、
<https://www.usda.gov/about-usda/news/blog/treasure-be-remembered-usda-support-turns-historic-church-museum>
48. 1967.37: Album of Church Furniture - Harvard Art Museums, 3月 16, 2025|にアクセス、
<https://harvardartmuseums.org/collections/object/296079>
49. Church furniture - Collections Online - National Museum Wales, 3月 16, 2025|にアクセス、
<https://museum.wales/collections/online/object/9aa013db-6689-3d5f-a94a-56d2b2497356/Church-furniture/>